

viscount®

オルガン専用スピーカー

V3.12A Dlx

V3.12A



取扱説明書

保証書別添付

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|-------------------------|
|  | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 |
|  | ～しないでくださいという「禁止」を示します。 |
|  | 「必ず実行」してくださいという強制を示します。 |

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

| | |
|---|---|
|  警告 | この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|---|---|

| | |
|---|--|
|  注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |
|---|--|

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

**警告****電源 / 電源コード**

必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。
- 異常に高温になる。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードを他の製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。

分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

本機を不安定なところには設置しない。

本機の転倒や落下によりランプが破裂して、けがをする原因になります。



必ず実行

電源プラグを電源に接続する前に、接地接続する。

接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離す。

機器が故障したり、感電したりするおそれがあります。



必ず実行

転倒防止の処置を行う。

必ず付属の補助金具や転倒防止ワイヤーを使用して、転倒防止の処置を行ってください。



必ず実行

十分な耐荷重強度のある、水平で安定した場所に設置する。

傾斜面や、水平でないところ、カーペット、畳などの安定しない面や変形する面などに設置しないでください。

使用上の注意



禁止

パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

電源 / 電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

おおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばや車内など)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動

プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、**音量(ボリューム)を最小にする**。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



プラグを抜く

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。
説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

お手入れ

必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

目次

| | |
|------------------------|----|
| 概要 | 8 |
| 接続端子 / コントロールパネル | 9 |
| 接続例 | 12 |
| 製品仕様 | 13 |

取扱説明書に関するお知らせ

- 本書のいかなる方法による無断複写・転載を禁じます。
- 本製品のすべての機能を使い、演奏をお楽しみいただくため、この取扱説明書をよく読んでご活用ください。
- この取扱説明書は大切に保存してください。
- 仕様、付属品および外観について、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書では各部（つまみ、端子など）の名称を [] で囲んで表示します。例えば、[VOLUME] は VOLUME つまみのことを意味します。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

概要

バイカウント V3.12A Dlx/V3.12A は教会やホールでのハイクオリティシステムに理想的なアンプ内蔵スピーカーです。コンパクトで軽量のキャビネットに 12 インチのウーファー、8 インチのミッドレンジ、およびツイーターを搭載。クラス D デジタルパワーアンプ 2 基と最新鋭の電子音響コンポーネントも内蔵しており、並外れた音質、高い音圧レベル、優れたクリアサウンドを実現します。

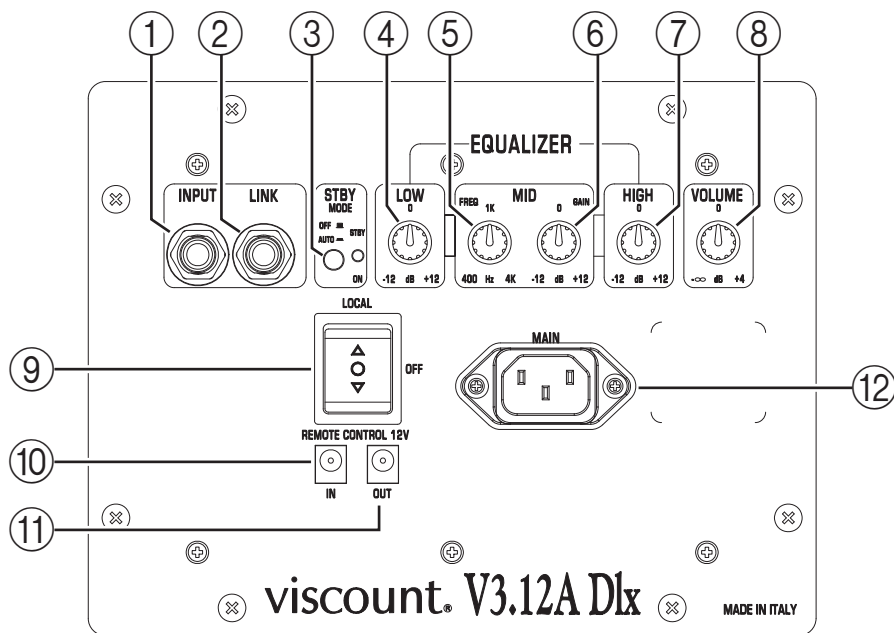
このスピーカーはクラシックオルガン、特にバイカウントシリーズのオルガンで併用するよう特別に開発されました。プロ仕様のセミパラメトリックイコライザーも搭載されており、遠隔操作で電源をオン/オフできます。更に、革新的な節電機能も採用されています。

軽量かつ頑強な筐体で最も過酷な条件下でも信頼できるこのスピーカーの外装は、オーク木目仕上げ (V3.12A Dlx)、またはメラミン樹脂 (V3.12A) をお選びいただけます (日本国内での取り扱いは V3.12A のみになります)。



接続端子 / コントロールパネル

接続端子 / コントロールパネルはキャビネットの背面にあります。以下はそのパネル図です。



- ① **[INPUT]** : バランス型端子です。オルガンのライン出力をここにケーブル接続します。
- ② **[LINK]** : バランス型端子です。[INPUT] 端子 (上記①項) から入力された信号をこの端子を介して別のスピーカーに送ります。スピーカーをチェーン接続してサウンドの指向性を拡散したい場合に便利です (P.12「接続例」参照)。
- ③ **[STBY MODE]** : スピーカーのスタンバイモードをオン / オフします。ボタンを押し込むとスタンバイモードが有効になり、[INPUT] 端子 (上記①項) から信号が入力されずに 30 分経過すると、自動的にスピーカーがオフ (スタンバイ状態) になります。その後、信号が入力されるとすぐにスピーカーが自動でオンになります。
もう一度押しすとボタンが上がった状態になり、スタンバイモードが無効になります。

その場合は信号が入力されなくてもスピーカーは常にオンになります。電源をオフにするには [LOCAL] スイッチ（下記⑨項）を使います。

このボタンの横にあるインジケータが緑に点灯するとスピーカーの電源がオン、赤く点灯するとスタンバイモードによりスピーカーの電源がオフであることを示します。

- ④ **[LOW]**：セミパラメトリックイコライザー用のつまみです。
低域（400 Hz 以下）をカット（0 ～ -12 dB） / ブースト（0 ～ +12 dB）します。
- ⑤ **[MID FREQ]**：セミパラメトリックイコライザー用のつまみです。[MID GAIN] つまみでカット / ブーストする周波数帯域を設定します。設定可能な周波数帯域の範囲は 400 Hz ～ 4 kHz です。
- ⑥ **[MID GAIN]**：セミパラメトリックイコライザー用のつまみです。[MID FREQ] つまみで設定した周波数帯域内の信号をカット（0 ～ -12 dB） / ブースト（0 ～ +12 dB）します。
- ⑦ **[HIGH]**：セミパラメトリックイコライザー用のつまみです。
高域（4 kHz 以上）をカット（0 ～ -12 dB） / ブースト（0 ～ +12 dB）します。
- ⑧ **[VOLUME]**：出力音量を調節します。つまみを $-\infty$ に設定すると完全に無音となります。
- ⑨ **[LOCAL]**：スピーカーの電源モードを選択します。
LOCAL に設定するとスピーカーの電源がオンになります。スタンバイモードが有効の時の動作については、上記の [STBY MODE] ボタンについてお読みください。
OFF に設定するとスピーカーの電源がオフになります。
REMOTE CONTROL 12V に設定すると、オルガン（または [IN] 端子（右記⑩項）に接続した任意の機器）でスピーカーの電源をオン / オフできます。

注意:

[IN] / [OUT] 端子を介して複数台の V3.12A Dlx/V3.12A スピーカーをチェーン接続した場合、各スピーカーにはそれぞれ約 1 秒遅れで順に電源が入ります。

- ⑩ **[IN]** : ミニプラグ端子です。オルガンや他の機器（または別の V3.12A Dlx/V3.12A スピーカー）からのケーブルをここに接続して、スピーカーの電源オン/オフを遠隔操作します。
たとえばバイカウントの最新鋭のオルガンには外部スピーカーの音量をコントロールできるつまみが装備されています。スピーカーの [IN] 端子に接続すると、オルガンからスピーカーの電源オン/オフを遠隔操作できます。
他のオルガンや機器（または別の V3.12A Dlx/V3.12A スピーカー）でも、この遠隔操作が可能です。コントロール信号の条件は +12 V DC/300 mA です（P.12 「接続例」 参照）。
- ⑪ **[OUT]** : ミニプラグ端子です。別の V3.12A Dlx/V3.12A スピーカーの [IN] 端子へ接続して、オルガンからチェーン接続された各スピーカーの電源をオン/オフします（P.12 「接続例」 参照）。

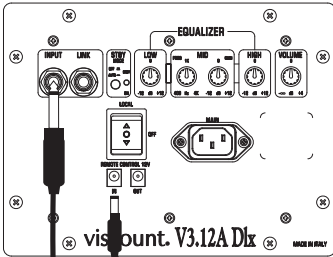
注意:

[IN]/[OUT] 端子を介して複数台の V3.12A Dlx/V3.12A スピーカーをチェーン接続した場合、各スピーカーにはそれぞれ約 1 秒遅れで順に電源がオンになります。

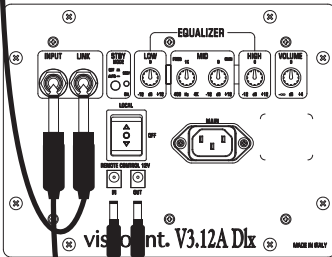
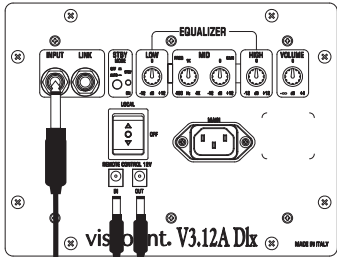
- ⑫ **[MAIN]** : 電源端子です。付属の電源コードでコンセントに接続します。

接続例

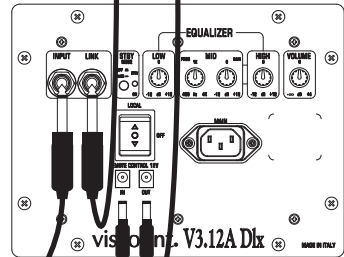
スピーカー(左)



スピーカー(右)



スピーカー(左)

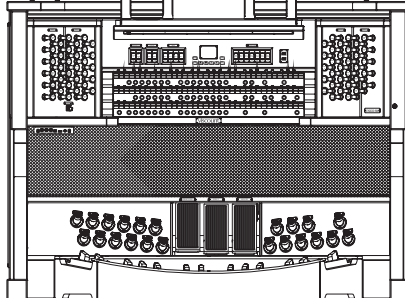


スピーカー(右)

ライン出力
L(左)

ライン出力
R(右)

12V電源
出力



製品仕様

| | |
|-------------------|---|
| 出力..... | 280 W (連続出力時) |
| アンプ..... | クラス D 2 × 90 Wrms |
| 歪率..... | 0.05% 未満 (ただし 75 Wrms/4 Ω @ 6.67 kHz まで) |
| 入力インピーダンス..... | 15 kΩ (バランス) |
| 入力感度..... | 0 dB (0.775 V) |
| 最大 SPL..... | 118 dB (自由空間) |
| 周波数特性..... | 38 ~ 18000 Hz (+/- 3 dB) |
| クロスオーバー周波数..... | 800 Hz @ 24 dB/oct. (アクティブ) 2800 Hz @ 18 dB/oct. (パッシブ) |
| スピーカー..... | ウーファー (12") × 1 ミッドレンジ (8") × 1 ツイーター × 1 |
| コントロール..... | ボリューム イコライザー (低域、中域ゲイン / 周波数、高域) リモートコントロール (12 V DC) スタンバイ |
| 接続端子..... | 入力端子 × 1、リンク端子 × 1 |
| 外装..... | V3.12A Dlx: ダークオーク材の化粧張り V3.12A: 積層ダークオーク仕上げ |
| 寸法 (幅×高さ×奥行)..... | 420 × 650 × 360 mm |
| 重量..... | 24 kg |

◆保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には、保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印、お買い上げ日」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命製品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類
接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ヒューズなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切り後 8 年です。

●修理のご依頼

異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただく時は、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

(全国共通番号) **0570 - 012 - 808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は、053-460-4830 におかけください。

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定
休日を除く)

FAX

東日本

(北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海)
03 - 5762 - 2125

西日本

(沖縄 / 九州 / 中国 / 四国 / 近畿 / 北陸)
06 - 6649 - 9340

viscount[®]

総輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

<http://www.yamahamusicjapan.co.jp/>

楽器営業本部 マーケティング部 ピアノ・EKB課

〒108-8568 東京都港区高輪2丁目17-11

TEL : 03-5488-5442

大阪事業所

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンバ社本ニッセイビル

TEL : 06-6649-9101